

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	156				
支出年月日	3年 1月 5日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					
<p>LAWSON</p> <p>芦屋新浜町店 兵庫県芦屋市新浜町2番7号 電話 0797-23-8055</p> <p>領収証</p> <p>2021年1月5日(火) 16:55</p> <p>長谷 基弘 様</p> <p>合計 ￥800- (内消費税等 ¥7)</p> <p>但し、プリント代として 上記正に領収いたしました</p> <p><本証取扱い上のお願ひ> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、 印刷面を内側に折って保管をお願い いたします。</p> <p>管理番号 [REDACTED]</p>			<p>LAWSON</p> <p>芦屋新浜町店 兵庫県芦屋市新浜町2番7号 電話 0797-23-8055</p> <p>領収証</p> <p>2021年1月5日(火) 16:56</p> <p>長谷 基弘 様</p> <p>合計 ￥800- (内消費税等 ¥7)</p> <p>但し、プリント代として 上記正に領収いたしました</p> <p><本証取扱い上のお願ひ> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、 印刷面を内側に折って保管をお願い いたします。</p> <p>管理番号 [REDACTED]</p>		
充当内容 (按分の計算方法)	市税: 1 個人 1294				
その他					

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対している議員はとうやたら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会が芦屋市の約35億円の減額した議案が伊藤市長から提出された。その議案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容が「街路整備事業」が対象だと発言されたのです。しかし、今ごろになってこの提案をされるのはおかしい。都市計画決定をする前に提案するべきだ。平成29年の都市計画決定、平成30年には事業計画決定まで。その都度議会には丁寧な説明を行い平成30年6月には第2市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外の退去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してできなで地権者の意向とは違っています。皆備を使ったバス停や駐車スペースを削げる方法では渋滞緩和や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので通常のバス停や一階車道の駐車場で事業採択される可能性は極めて低く補助金も全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反論が可能でしたが一切発言されていませんでした。（当時在職していた議員）

JR 芦屋駅前再開発賛成したグループ（敬称略）

- 長谷 昌弘 たかおか知子 中村 亮介（あしやみんの会3名）
 - 平野 貞雄 ひろせ 久美子 川島 あゆみ（共産党3名）
 - 大原 裕貴 浅海 洋一郎（日本維新の会2名）
 - 山口 みさえ（新社会党1名）合計9名
- 芦屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 芦屋駅前再開発反対したグループ（敬称略）

- 松本 義昭 福井利通 福井美奈子
 - 川上あさえ（自民党5名）
 - 徳田徳彦 福山和也 田原俊彦（公明党3名）
 - 青山 敏 大塚 のぶお 中島健一（Be Ashiya3名）
 - 寺前 尊文 無所属 修正案提出者（合計12名）
- 「街路整備事業は出来なない対案を提出しています！」

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、削減案（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付になると削減率はいくらになるのか？市支出見込86.0億となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な利用について県・国と協議をすることとされていますが、事業上次年度から補助されることは無くなるの見解も示されています。また、反対するため街路整備事業の変更となれば都市計画決定をやり直すことになり、事業上の白紙撤回でやり直したという傍を私は知りません。どういうスケジュールなのだろう？反対した議員に聞きたいものです。



JR 芦屋駅南地区再開発事業の損害額はどれくらいでしょう？40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大いにあると指摘しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとすれば JR 芦屋駅舎改良工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億・関連事業5億・いずれも内示率70%です。法定外協定外費用（関連会社への権償金等）についても）なりませう。法定外協定外費用（関連会社への権償金等）についても
- 国庫による補助約1億は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5億。
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟など額の額は不明。

芦屋市のマンションは値シヨンが流れている事実でした。

このJR芦屋駅は通のマンションが兵庫県の新築マンシヨン比較サイトに掲載されている近々の芦屋駅付近のマンシヨンですが、2年前の船戸町で3億1300万円、昨年の船戸町マンシヨンが2億4000万円、去年完成予定の大原町が1億2800万円（予定）川西町が1億5000万円。などの値シヨンがズバリ完成し販売されています。芦屋市の高層市の精確なこれらマンシヨンが買った先は売れなると言わなくてはなりません。


駅前計画された1億円を超える高級マンシヨンは近くにも数多くあり、庶民感覚ではないにしても固定資産税や市民税は期待できません。

このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体問題です。例えば...

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広域面積を3200から5600㎡に変更）は南芦屋系の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋系を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、芦屋市は阪神淡路大震災の影響はありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北交通路線があり期を待たず2時間に1便です。バス便の不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。



政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	157
支出年月日	3年1月5日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<h1>LAWSON</h1> <p>神戸深江浜店 兵庫県神戸市東灘区 深江浜町8-4-1 電話 078-452-2267</p> <h2>領 収 証</h2> <p>2021年1月5日 (火) 10:48</p> <p>長谷 豊弘 様</p> <p>合 計 ¥1,600- (内消費税等 ¥14)</p> <p>但し、プリント代として 上記正に領収いたしました</p> <p><本証取扱い上のおお願い> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、 印刷面を内側に折って保管をお願い いたします。</p> <p>管理番号 </p>	
充当内容 (按分の計算方法)	糊付け100% 検分80% 1280 ナカ1/
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

街路整備事業は実施不可能な奉納です。反対している議員はどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会では、約35億円を超過した事業が伊藤市長から提出された。その提案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対象と発表された。しかし、今に至るまでこの提案を撤回する前には「予算」を提示する必要がある。平成30年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で決まっています。また「街路整備事業」は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に遠征、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してもできなないので地権者の意向とは違ってくる。路線を使ったバス停や駐車スペースを設ける方法では流溝線や安全利便は出来ませんが、駅前広場ではないので過型のバス停や一般乗降の駐車場で、事業採択される可能性は極めて低く補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でのこの反論が可能でしたが一切発言されていませんでした。（当時在籍していた議員は*）

- JR 芦屋駅南再開発したグループ（敬称略）
- 黒谷 善弘 たかおが知子 中村 亮介（あしや しみんのこえ 3名）
 - 平野 貞雄 ひろせ 久美子 川島 あゆみ（共産党 3名）
 - 大原 裕貴 溝海 洋一郎（日本維新の会 2名）
 - 山口 みさえ（新社会党 1名）合計 9名
- 芦屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

- JR 芦屋駅南再開発したグループ（敬称略）
- 松木 豊昭 福井 利通 源井 美穂子
 - 米田 哲也 川上 泰さえ（自民党 5名）
 - 榎田 直彦 榎山 和出 田原 穂彦（公明党 3名）
 - 青山 朝 大塚 のぶお 中藤 健一（Be Ashiya 3名）
 - 寺前 尊実 無所属（合計 12名）
- 【街路整備事業】を提出している議員は、寺前 川上

今回の削減案は当初支見込を下回っていた事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、総減額（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で調整していますが、仮に10割交付となると総減額はいくらかになるのか？市支出見込86.0億となり、支出額は総減額によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な費用について県・国と協議を要するとされてしまいましたが、事業上必要なことから補助されることは無くなるのでは懸念されています。また、反対するための街路整備事業の変更となれば都市計画決定をやり直さざるを得ない状況になります。どうしよう？反対した議員に聞きたいものです。

JR 芦屋駅南地区再開発事業の 損害額はどれくらいでしょうか？ 40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上にあります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大いにあると指摘しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとすれば、JR 芦屋駅舎改良工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億、いずれも内示率70%です。100%ペースだと17.5億円）が市の負担となりま
- 法定外協定外費用（関連会社への補償金等）についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5億。
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンシヨンは隠シヨンが売れている状況です。

売れないどころか即売完？

兵庫県の新興マンシヨン比較サイトに掲載されている近々の芦屋駅付近のマンシヨンですが、2年前の船戸町で3億1300万円。昨年の船戸町マンシヨンが2億4000万円。来年完成予定大原町が1億2800万円（予定）川西町が1億5000万円。などのマンシヨンがスラリ完成予定で既に販売されています。「芦屋市の特徴はこれらマンシヨンが真っ先に売れるのだ」ということだそうです。

駅前に計画された1億円を超える高級マンシヨンは近くにも数多くあり、庶民感覚ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前のマンシヨンは売れない？どころか完売されるという実績があるので、

このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の課題です。例えば・・・

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200から5600㎡に変更）は南芦屋駅の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋駅を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、南芦屋は阪神淡路大震災の被害がありました。計画通りです。しかし、駅前広場が完成のため駅北交差点の交通渋滞があり、朝を除き2時間に1便です。バス便の不便など現在に至るまで解決できていない現状があります。

- 芦屋駅南の上層のため、駅前広場の埋め立て計画は遅延している。（年額約7、000万円以上になる）
- 近隣の別荘地も上がり、（既に船戸町などの別荘地も上がり、
- 古い世代の保有する新築は人口増加に伴って、またバリアフリー化率100%が達成できず、
- ユニバーサルデザインの新築として、またバリアフリー化率100%が達成できず、
- 高齢なマンシヨンで購入して居住される方が増える傾向にも懸念があります。
- 小さな新築からできるコンパクトシティの雛形の輸出が可能ですが、

実施すれば 事業効果はいくつもありました。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	158
支出年月日) 年 / 月 6 日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">LAWSON</div> <p style="font-size: 0.8em;">戸屋新浜町店 兵庫県戸屋市新浜町2番7号 電話 0797-23-8055</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 10px 0;">領 収 証</p> <p>2021年1月6日 (水) 08:54</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">長谷 昇 様</p> <p style="margin: 10px 0;">合 計 ¥ 1 6 0 -- (内消費税等 ¥ 14)</p> <p style="font-size: 0.8em;">但し、プリント代として 上記正に領収いたしました</p> <p style="font-size: 0.8em;"><本証取扱い上のお願ひ> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、 印刷面を内側に折って保管をお願い いたします。</p> <p style="font-size: 0.8em;">管理番号 XXXXXXXXXX</p>	
充当内容 (按分の計算方法)	市議は七村 8% 129円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

会派「あしやしみんのこえ」

芦屋市議会議員 はせぎしの

市政レポート Vol.24 議会の危機編

JR 芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！
芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！

JR 芦屋駅南地区再開発事業の減額案約 35 億円行った！それでも反対する議員たち・・・
損失額は約 40 億円を既に超えるようだ・・・

減額するように求めたのはすべての議員だった。なぜ反対なのか理解不能？

反対する議員達は「毎路整備事業」を主張していますが、実施困難な計画であることは市の担当者が何度も説明してまいりました。出資しない事業をやれば議員の賛成を得るための事業費削減や基本計画図などの基本的計画を用意し、精減した芦屋市の計画と対比する必要があります。てきもしないものを要求したのは、対象にもなりません。「反対のための反対」でしかありません。

理事委員の芦屋市負担、以て 120 億円から 99 億円になりました！

再開発ビルは単面を見直し、建築資材を再検討して約 1.2 億円削減。電線共同溝工事、市道 354 号線他の無電化の取りやめを行い 3.7 億円削減。用地、買収費用を見直し 7.8 億円減額。公共施設用地 7.8 億円減額。地下鉄輸送場の減額 6.3 億円。ペDESTリアンデッキ 5.6 億円の減額などで合計約 35 億円になります。

毎路整備事業 130.9 億円。JR 駅舎改修費用やペDESTリアンデッキ費用など関連事業 35.6 億円。これにより、総額 201 億円が 34.5 億円減額され 166.5 億円になりました。芦屋市の負担は 99 億円です。(裏面にも掲載)



【当初の計画図+ペDESTリアンデッキを計画】



【今回の約 35 億円減額後の計画図】

158-2

ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う

バリアフリーとユニバーサルデザインは違う



UDとは、Universal Design (ユニバーサルデザイン)。総合計画上位に位置される予定の考え方で、バリアフリーとは、障害者・高齢者などに配慮されて策定されています。一方、ユニバーサルデザインは個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされています。また、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させる「行政主導型」ですが、ユニバーサルデザインは、長い【働けないバリアフリー】ものを認めただえ推進する「民間主導型」で大きく異なっています。制度設計は常に市民のみなさんの声が必要ではありません、ユニバーサルデザインは障害者だけのものではないことをご理解下さい。

「あしやしみんのこえ」伊藤市長へ新年年予算の要望を行いました。

令和2年10月17日に伊藤市長へ会派のみなさんで考えたり、市民の皆さんの要望をお聞きして、63項目の予算要望を行いました。幼稚園3年保育の完全実施と保育所の待機児童0を目指す、新型コロナウイルスへの支援策を積極的に。防災・防犯ではLINEの活用や避難所に関すること、公園や街路の利便性、中小企業・零細企業対策、街づくりへの支援策、国際化に関する取り組み、高齢者・障がい者福祉へのバリアフリー対策、教育の充実しやの推進、中学校の体育館エアコンの設置、スクーールの導入、職員さんたちの研修への新たな提案、芦屋浜・瀬戸屋への防犯対策、その他として議会へは議員が行ったとされるパワハラの実態を求めましたが、職員に厳しく、議員は優しく、前成は再々ませんでした。



議会は意見が違ってもいい！ですが、結論には責任をもつべいです。

今回の議会の「JR 芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和21年からの芦屋市民の念願でした。会派ではこの国鉄時代からの市民の願いや思いを大切にします。意見の違いはあってもいいし、異なる方が健全です。しかし、反対するにはその対象は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしやしみんのこえ」は着手の2名の議員と私(民生文書常任委員会)の8名の会派です。
副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会) 会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

芦屋市議会 会派「あしやしみんのこえ」

〒650-0051 芦屋市橘通町7-6
TEL: 0793-38-2001(11時～15時)

代表者 中村亮介
副代表者 中村亮介

会派「あしやしみんのこえ」

代表者 中村亮介

副代表者 中村亮介

会派「あしやしみんのこえ」

代表者 中村亮介

副代表者 中村亮介

とまぬに承と

JR 芦屋駅前地区再開発事業の損害額はどれくらいでしょうか？
40 億円以上 (損害賠償訴訟は不明) は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投じた額は 20 億円 (令和元年決算) 以上になります。また、
7 年間の事業計画がごんばると多額の損害賠償の可能性が大きい！と昨年大塚の市政レポートに掲載しましたが
予想額を過剰しておきます。

- 事業手法の変更を検討するとすれば JR 芦屋駅舎改良工事に入込んでいた費用約 12 億円 (再開発事業 7 億 + 関連事業 5 億 - いずれも内訳率 70% 以下、100%ヘースだと 17.5 億) が市の負担となり、また送定外協定費用 (関連会社への補助金等) についても国費による補助約 1 億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約 5 億。
- 取や地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。



芦屋市のマンションはマンションが売れている

売れないどころか即売売？

兵庫県の新築マンション比較サイトに掲載されている近々の芦屋駅付近のマンションですが、2 年前の船戸町川西町が 1 億 5000 万円などの値シヨクがスラリ完成予定で既に販売されています。芦屋市の価格はこれら値シヨクが買っ先に売れるのだ！ということだそうです。
駅前に計画された 1 億円を超える高級マンションは近くにも数多くあり、庶民感覚ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前の値シヨクは売れない？どころか完売されるという実績があるのです。

この JR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の問題です。例えば...

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和 21 年です。昭和 52 年の都市計画変更 (広場面積を 3200 から 5600 m²に変更) は南芦屋駅の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋駅を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、芦屋駅は阪神淡路大震災の影響がありました。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑が激しく、地域によっては朝を過ぎる 2 時間に 1 便です。バス便の不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。(年約 7,000 万円以上になる)
- 近隣の資産価値も上がります。(特に船戸町などの価格が上昇している)
- 若い世代の増えるにつれて人口増加につながります。
- ユニバーサルデザインの駅舎として、またバリアフリー化率 100% が達成できます。
- 高層なマンションを併設して居住される方が増える市税にも増えます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力的な街づくりが可能で、

実施すれば
市税効果はいくつ
もありました。

対策の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員は
これをどうやったら実施できるのか？やむを得ず説明せよ

昨年 12 月 11 日の建設公営企業常任委員会から約 35 億円減額した議案が伊藤市長から提出された。その提
案に対して反対するグループの 2 人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対象だと発表されたの
です。しかし、今ごろになってこの議案を改定するのはおかしな話です。都市計画決定をする前に提案するべきで
平成 29 年に都市計画決定、平成 30 年には事業計画決定され、その前後、議会には丁寧な説明を行い、平成 30 年
6 月には市議会が街路整備事業の施行に関する条例の制定も全会一致 (反対者 0) で可決しています。
また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に居住、立ち退きさ
ることになります。「地域に空き家が増えたい」と希望してもできないので地権者の意向とは違っています。
路肩を使ったバス停や駐車スペースを設ける方法では渋滞緩和や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので通
過型のバス停や一般車両の駐車場では事業採択される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。
何より、平成 29 年、30 年でのこの議論が可能でしたが一切発表されていませんでした。当時在議していた議員は※

JR 芦屋駅南再開発賛成したグループ (敬称略)

長谷 基弘 ※	たかおか 知子	中村 亮介
(あしや しみんの会 3 名)		
平野 貞博 ※	ひろせ 久美子 ※	川島 泰ゆみ
(共産党 3 名)		
大原 裕貴 ※	津海 洋一郎 (日本維新の会 2 名)	
山口 みさえ	(新社会党 1 名) 合計 9 名	

芦屋市に経済削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 芦屋駅南再開発反対したグループ (敬称略)

松木 義昭 ※	福井 利通 ※	福井 美津子 ※
米田 哲也	川上 あさえ	(自民党 5 名)
藤田 雄彦 ※	峰山 和也 ※	田原 豊彦 ※ (公明党 3 名)
西山 隆	大塚 のぶお	中島 健一 ※
(Be Ashiya 3 名)		
香野 尊文 ※	無所属	(合計 12 名)


「街路整備事業」という出来ない対策を提出したのは寺前議員と川上議員

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！削減案では補助されぬ？

当初事業計画 (平成 30 年 2 月時点) における市支出見込額は 86.7 億円 (制度上の国費 10 割交付見込み)、削減
案 (令和 2 年 11 月時点) における市支出見込み額は 99 億円です。国の交付金を 7 割で想定していますが、仮に 10
割交付となると削減案はいくらかになるのか？市支出見込 86.0 億となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回
っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行
が困難な費用について県・国と協議をするとしてされています。また、削減案は削減された分、削減した年度が
ら補助されることは無くなるので負担も示されています。また、反対するための
街路整備事業の要案となれば都市計画決定をやり直すことになり、削減案の
の白紙撤回でやり直したという例は私には知りません。どうしようスケジューリングな
だるう？反対した議員に聞きたいものです。



政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	159
支出年月日	2021年1月6日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 <u>資料作成費</u> 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<h1>FamilyMart</h1> <p>西宮宮西店 兵庫県西宮市宮西町9番14号 電話 0798-38-8710</p> <h2>領 収 証</h2> <p>2021年 1月 6日 (水) 14:43</p> <p>長谷 基弘 様</p> <p>合 計 ￥160 (税込)</p> <p>但し、プリント代として 上記に領収いたしました。</p> <p><本証取扱い上のお願ひ> 財布・手帳等に入れ保管頂く場合、 印刷面を内側に折って保管をお願い いたします。</p> <p>管理番号 </p>	
充 当 内 容 (按分の計算方法)	雑誌vol.24 発行81p 128円
そ の 他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

再開発も

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業審判委員会から約35億円の補助金が提出された。その原案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対象だと変更されたのです。しかし、今こうなるのはおかしな話。都市計画決定をする前に提案するべきです。平成30年に都市計画決定、平成31年には事業計画が決定され、その都度、議会には丁寧な説明を行います。年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通の確保ができません。また地権者の方は地域外に退去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してもできないので地権者の意向とは違ってくるので、路肩を使ったバス停や駐車スペースを設ける方法では渋滞緩和や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので過剰なバス停や一般車両の駐車場では原案採択される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反論が可能でしたが一切変更されませんでした。当時在任していた議員は*

JR 芦屋駅南再開発賛成したグループ (敬称略)

島鈴 徳弘 ※ たかおか 知子 中村 晃介
(あしや しみんのごえい 3名)

平野 貞雄 ※ ひろせ 久美子 ※ 川島 あゆみ
(共産党 3名)

大原 裕典 ※ 瀧井 洋一郎 (日本維新の会 2名)

山口 みさえ (新社会党 1名) 合計 9名

芦屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 芦屋駅南再開発反対したグループ (敬称略)

松永 徳雄 ※ 種谷 利通 ※ 徳井 美奈子 ※

米田 哲也 川上 高志 (自民党 5名)

徳田 隆彦 ※ 嶋山 和徳 ※ 田原 敏彦 ※ (公明党 3名)

降山 晴 大塚 のぶお 伊藤 健一 ※

(Be Ashvab 3名)

寺前 尊文 ※ 細所 隆 (合計 12名)

「街路整備事業」という出来ぬ案を提出したのは寺前議員と川上議員

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！事業費までは補助されぬ！

当初事業計画 (平成30年2月時点) における市支出見込額は86.7億円 (制屋上の国費10割交付見込み)、種別案 (令和2年11月時点) における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると削減案はいくらかになるのか？市支出見込86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な費用について原・国と協議をする事とされています。事実上、削減案が困難な費用について原・国と協議をする事とされています。また、反対する目的から補助されることは無くなる見解も示されています。また、反対する目的は街路整備事業の変更となれば都市計画決定をやり直すことになりませんが、事実上の白紙撤回でやり直したという例は私には知りませんが、どういふスケジュールなのだろうか？反対した議員に聞きたいものです。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょうか？ 40億円以上 (損害賠償訴訟は不明) は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円 (令和元年決算) 以上にのびます。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい。昨年度の私の再開発レポートに指摘しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとこれはJR 芦屋駅改良工事に見込んでいた国費約12億円 (再開発事業7億+開通事業5億・いずれも内示率70%)です。100%ヘーズだと17.5億)が市の負担となり、また法定外費用 (開通会社への補償金等) についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5億。
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンションは倍増している

売れないどころか即売?



兵庫県の新築マンション比較サイトに掲載されている近々のJR 芦屋駅付近のマンションですが、2年前の船戸町で3億1300万円、昨年の船戸町マンションが2億4000万円、来年完成予定大原町が1億2800万円 (予定)。川西町が1億5000万円などのマンションがスラリ完成予定で既に販売されています。芦屋市の相場はこれらマンションが買つ先に売れるのだ、ということだそうです。駅前計画された1億円を超える高級マンションは近くにも数多くあり、庶民層ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前のマンションは売れないどころか完了されるという実績があるので、

このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の問題です。例えば・・・

- JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更 (広積面積を3200㎡から5600㎡に変更) は南芦屋浜の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋浜を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、南芦屋浜は阪神淡路大震災の影響がありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため南北の交通混雑があり、地域によっては車を2時間以上待つ。バスの不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。
- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。(率約7.000万円以上になる)
- 近隣の資産価値も上がります。(既に船戸町などの地価が上昇している)
- 若い世代の滞りする街になれば人口増減に繋がります。
- ユニバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率10.0%が達成できます。
- 高層マンションを購入して居住される方が納める市県民税にも期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力の創出が可能で。

実施すれば
市県民税はいくつ
もありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	160				
支出年月日	2021年 1月 7日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	○広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					
 芦屋呉川町店 兵庫県芦屋市呉川町10番9号 電話 0797-31-0875 北 野 2021年01月07日(木) 20:07 領収書			 芦屋呉川町店 兵庫県芦屋市呉川町10番9号 電話 0797-31-0875 北 野 2021年01月07日(木) 09:09 領収書		
￥80 内消費税等 ￥7 但し フリント代として 上記正に領収いたしました 2021年01月07日 内訳 現金支払額 ￥80 本票を保管頂く場合は、印刷面を 内側に折り、保管をお願い致します			￥80 内消費税等 ￥7 但し フリント代として 上記正に領収いたしました 2021年01月07日 内訳 現金支払額 ￥80 本票を保管頂く場合は、印刷面を 内側に折り、保管をお願い致します		
充当内容 (按分の計算方法)	紙はート 20% 1290				
その他					

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会から約35億円増額した案が伊藤市長から提出された。その提案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対案だと提案された。しかし、今ごろになってこの提案をされるのはおかししいし、都市計画決定をする前に提案するべきだ。平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その郵便、議会には丁寧な説明を行い、平成30年6月には第2種市街地開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で決まっています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に退去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望していてもできないので地権者の意向とは異なってきます。

路肩を使ったバス停や駐車スペースを設ける方法では就労継続や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので通常のバス停や一般車両の駐車場で事業実施される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反対が可解でしたが一切廃止されていませんでした。当時賛成していた議員は*

- JR 芦屋駅南再開発賛成したグループ（敬称略）
- 長谷 肇弘 ※ たがおか 知子 中村 亮介
 - (あしや しみんのこえ 3名)
 - 平野 貞雄 ※ ひろせ 久美子 ※ 川島 あゆみ (共産党 3名)
 - 大原 裕貴 ※ 瀧崎 洋一郎 (日本維新の会 2名)
 - 山口 みさえ (新社会党 1名) (合計 9名)
- 芦屋市に経営削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

- JR 芦屋駅南再開発反対したグループ（敬称略）
- 松本清昭 ※ 福井利通 ※ 福井美奈子 ※
 - 米田哲也 川上あさえ (自民党 5名)
 - 郷田酒彦 ※ 岸山和也 ※ 田原博彦 ※ (公明党 3名)
 - 青山 剛 大塚のぶ治 中島健一 ※ (Be Ashiya 3名)
 - 寺前 尊文 ※ 無所属 (合計 12名)
- 「街路整備事業」という出来なない対案を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の期折は当初支出見込を下回っていた事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、補償額（令和2年11月時点）における市支出見込額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると補償額はいくらになるのか？市支出見込 86.0億円となり、支出額は補償額によって当初の計画を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な費用について限・回と給付をされるとされていますが、事実上は年度から補助金に大きな影響が出るとの見解を示されています。また、反対するため①街頭整備事業の変更となれば都市計画決定をやり直すことになり、事実上の白紙撤回でやり直したという訳を私は知りません。どういらすスケジュールのたろう？反対した議員に聞きたいものです。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょうか？ 40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上にあります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい！昨年度の私の市議会レポートに報告しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を維持するとこれはJR 芦屋駅南再開発工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内訳率70%です。100%ベースだと17.5億）が市の負担となり、固定外費用（関連会社への補助金等）についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5億。
- JR や地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンションは値上げされている

兵庫県の新築マンションは概ね2年連続で値上げされている近々のJR 芦屋駅付近のマンションですが、2年前の神戸市で3億1300万円、昨年の神戸市で4億4000万円、来年完成予定大塚町が1億2800万円（予定）、川西町が1億5000万円などの値上げがスラリ完成予定で既に販売されています。「芦屋市の相場はこれから値上げが先に行われるのだ」ということだそうです。駅前計画された1億円を超える高級マンションは近くにも数多くあり、阪神間ではないにしても固定資産税や市長税は期待できます。駅前のマンションは売れない？ところが売られるという実績があるのです。

売れないどころか販売完了？

このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の課題です。例えば・・・

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に拡張）は南芦屋の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋を急め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、芦屋は阪神淡路大震災の影響はありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては朝を除き2時間に1便です。バスの不足など現在に至るまで解決できていない現状もありません。

- 商業価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上に）
- 近頃の商業価値も上がり、（既に神戸市などの相場値が上昇している）
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- エコバーカルデザインの駅前として、またバリアフリー化率100%が達成できます。
- 高級なマンションを購入して居住される方が増える方が期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力を最大限に引き出す。

表面すれば 商業効果はいくつもありました。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	161				
支出年月日	3年 / 月 12日				
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費	研修費	〇 広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	〇 資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					
充当内容 (按分の計算方法)	概算 100/24 採分 80% 17,794円				
その他					

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

会派「あしや しみんのこえ」 芦屋市議会議員 はせあきの 市政レポート Vol.24 議会の危機編



JR 芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！
芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！

JR 芦屋南地区再開発事業の減額を約 35 億円行った！それでも反対する議員たち・・・
損失額は約 40 億円を既に超えるようだ・・・
異議するように求めたのはすべての議員だった。なぜ反対なのか理解不能

反対する議員達は「新路線競争」を主張していますが、業務困難な計画であることは市の担当者が何度も説明してまいりました。出来ない事業をやれば議員の買収を疑う議会。それを裏切るための事業買収や基本計画図などの根本的計画を用意し、構築した芦屋市の計画と対峙する必要があらわれます。できもしないものを要求したのでは、対策にもなりません。「反対のための反対」ではありません。

総事業費の芦屋市負担は以前の 120 億円から 99 億円になりました！

再開発ビルは断頭を見過し、建築資材を再検討して約 1.2 億円削減。電線共同溝工事、市道 354 号線他の電柱化の取りやめを行い 3.7 億円削減。用地、買収費用を削減し 7.8 億円削減。公共施設用地 10.3 億円減額。地下駐車場の減額 6.3 億円。ベテストリアンデッキ 5.6 億円他の減額総計で合計約 35 億円になります。
再開発事業 130.9 億円。JR 駅舎改良費用やベテストリアンデッキ費用など関連事業 35.6 億円。これにより、総額 201 億円から 34.5 億円削減され 166.5 億円になりました。芦屋市の負担は 99 億円です。(総額にも削減)



【当初の計画図+ベテストリアンデッキを削り】



【今回の約 35 億円削減後の計画図】

ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う

バリアフリーとユニバーサルデザインは違う



UD とは、Universal Design (ユニバーサル デザイン)。総合計画上位に位置される予定の考えです。バリアフリーとは、障害者、高齢者などに配慮されて設定されています。一方、ユニバーサルデザインは個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされています。また、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させる「行政指導型」ですが、ユニバーサルデザインは、良いものを選んだらいいという「民間主導型」で大きく異なっています。制度設計は常に市民のみなさんの声があれば成立しません。ユニバーサルデザインは障害者だけのものではないことをご理解下さい。

「あしやしみんのこえ」伊藤市長へ新年度予算の要望を行いました。

令和2年10月17日に伊藤市長へ会派のみんなでは考えたり、市民の皆さんの要望をお聞きして、53項目の予算要望を行いました。幼稚園3年保育の完全実施と保育所の待機児童0を目指す。新型コロナウイルスへの支援策を積極的に実行。防災・防犯ではLINEの活用や避難所に関する取り組み。高齢者・障がい者福祉への案対策。街づくりへの支援策。国際化に関する取り組み。高層ビル・障がい者福祉へのバリアフリー対策。教育の街あしやの復活。中学校の体育館工アコムの設置。スクールの導入。職員さんたちの研修への新たな提案。芦屋浜・湖屋の防災対策。その他として議会へは議員が行ったとされるワハラへの調査を求めましたが、職員に厳しく、議員自身には甘く、買収は買えませんでした。



議会は意見が違ってもいいですが、結論には責任をもつべきです。

今回の議会の「JR 芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和21年からの芦屋市民の念願でした。会派ではこの国鉄時代からの市民の願いや思いを大切にします。意見の違いはあってもいいし、寧ろその方が健全です。しかし、反対するにはその対策は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしや しみんのこえ」は若手の2名の議員と私(民生文政常任委員会)の3名の会派です。副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

芦屋市議会議員 あしやしみんのこえ

会派「あしやしみんのこえ」

芦屋 はせ 会派 公営企業常任委員会

TEL 0797-38-2001(内線 5151)

会派「あしやしみんのこえ」

副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

会派「あしやしみんのこえ」

副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

会派「あしやしみんのこえ」

副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会から約35億円減額した議案が伊賀市長から提出された。その議案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対象だと発言されたのです。しかし、今このころになってこの提案をされるのはおかしい、都市計画決定をする前に提案すべきです。平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その段階、誰にも丁事な説明を行い、平成30年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に逃亡、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してもできないので地権者の意向とは通ってきません。路肩を使ったバス停や駐車スペースを設ける方法では渋滞緩和や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので過剰のバス停や一般車両の駐車場では事業採択される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反対が可解でしたが一切発言されていませんでした。当時在職していた議員は※

- JR 戸屋駅南再開発賛成したグループ（敬称略）
- 長谷 基弘 ※ たがおか 知子 中村 亮介
 - （あしや しみんのこえ 3名）
 - 平野 貞雄 ※ ひろせ 久美子 ※ 川島 あゆみ
 - （共産党 3名）
 - 大原 裕昌 ※ 浅海 洋一郎（日本維新の会 2名）
 - 山口 みさえ（新社会党 1名）（合計 9名）
- 戸屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

- JR 戸屋駅南再開発反対したグループ（敬称略）
- 松本 雄昭 ※ 深井 和通 ※ 相井 美奈子 ※
 - 柴田 啓治 川上 あさえ（自民党 5名）
 - 櫻田 直彦 ※ 菊山 和也 ※ 田原 健彦 ※（公明党 3名）
 - 青山 晴 大野 のぶお 中島 健一 ※
 - （Be Ashiya 3名）
 - 寺前 尊文 ※ 細所 廣（合計 12名）
- 「街路整備事業」という出来ない対策を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国庫10割交付見込み）、削減案（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となる増減額はいくらになるのか？市支出見込86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の額面を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な費用について県・国と協議をすることされていますが、事業上次年度から補助金に大きな影響が出るとの見解も示されています。また、反対するためには街路整備事業の変更となれば都市計画決定をやり直すことになり、事業上の白紙撤回でやり直したという例を私は知りません。どういうスケジュールなのだろうか？反対した議員に聞きたいものです。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょうか？40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい！昨年度の私の市政レポートに掲載しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとすれば JR 戸屋駅舎改良工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内5年70%です。100%ペースだと17.5億）が市の負担となります。協定外費用（関連会社への補助金等）についても国費による補助約1億円は全額戸屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5億。
- JR や地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

戸屋市のマンシヨンは噂シヨンが売れている

売れないどころか即売売？

我孫子の新築マンション比較サイトに掲載されている近々の JR 戸屋駅付近のマンションですが、2年前の船戸町で3個1300万円。昨年の船戸町マンションが2個4000万円。来年完成予定大原町が1個2800万円（予定）。川西町が1個5000万円などの値シヨンがスラリ完成予定で既に販売されています。「戸屋市の特価はこれから値シヨンが買っ先に売れるのだ」ということだそうです。駅前計画された1億円を超える高級マンションは売れない？どこか売却されるという裏面があるのです。駅や市民料は期待できます。駅前の値シヨンは売れない？どこか売却されるという裏面があるのです。

この JR 戸屋駅再開発は戸屋市全体の課題です。例えば・・・

JR 戸屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に変更）は南戸屋浜の埋め立て計画と連動したものです。南戸屋浜を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、南戸屋は臨海沿線大震災の影響はありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては朝を除き2時間に1便です。バスの不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上になる）
- 近隣の資産価値も上がります。（既に船戸町などの路線価が上昇している）
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- ユニバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率1.0%が達成できます。
- 高級なマンションを購入して居住される方が納める市民税にも期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力の創出が可能です。

実施すれば
事業効果はいくつ
もありました。

請求書

2021年01月08日

芦屋市議会議員 長谷基弘 あしやしみんのこえ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
 ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
 何卒よろしく願い申し上げます

株式会社プリントパック
 〒617-0003
 京都府向日市森本町野田5-1
 TEL 0120-977-920
 FAX 075-935-6890

お支払条件 代金引換 (後払) 納品場所 ご指定場所

御請求金額 22,230円 (税込) 納品期日 2営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
[REDACTED]	品名：はせ基弘市政レポート24-1 A3 / 両面4色 / コート73 / 3,000部 / 加工1：十字折り 加工2：	1	21,790	21,790
	代引き手数料			440
合 計				22,230

特記事項

代引手数料はお客様にご負担いただく形となります。
 商品到着時に運送会社様へお支払いくださいませ。

161-4

領収書

2021年1月12日

芦屋市議会議員 長谷基弘 あしやしみんのこえ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
 下記の金額正に領収いたしました。
 何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社プリントパック
 〒617-0003
 京都府向日市森本町野田3-1
 TEL 0120-977-920
 FAX 075-935-6890

お支払条件 代金引換(後払い) 納品場所 ご指定場所

御請求金額 22,230円(税込) 納品期日 2営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
	品名：はせ基弘市政レポート24-1 A3 / 両面4色 / コート73 / 3,000部 / 加工1：十字折り 加工2：	1	21,790	21,790
	代引き手数料			440
合 計				22,230

特記事項

運送会社が発行されます領収書(送り状)が正式な領収書となります。
 こちらの領収書が精算等にご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

161-5

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	162
支出年月日	R3年 1月 4日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 <u>資料作成費</u> 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充当内容 (按分の計算方法)	本取レポート vol 27 枚数 810 710 Y. 112 p
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収書

2021年01月12日

芦屋市議会議員 長谷基弘 あしやしみんのこえ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
 下記の金額正に領収いたしました。
 何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
 〒617-0003
 京都府向日市森本町野田3
 TEL 0120-977-920
 FAX 075-935-6890

お支払条件 クレジットカード 納品場所 ご指定場所

御請求金額 130,140円(税込) 納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
	品名：はせ基弘市政レポート24-2 A3 / 両面4色 / コート73 / 30,000部 / 加工1：十字折り 加工2：	1	127,740	127,740
	発送諸費用			2,400
合 計				130,140

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、
 印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
 ※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

162-2

請求書

2021年01月12日

芦屋市議会議員 長谷基弘 あしやしみんのこえ 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
 ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
 何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパック
 〒617-0003
 京都府向日市森本町野田3-1
 TEL 0120-977-920
 FAX 075-935-6890



お支払条件 クレジットカード支払い 納品場所 ご指定場所

御請求金額 130,140円 (税込) 納品期日 7営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
[Redacted]	品名：はせ基弘市政レポート24-2 A3 / 両面4色 / コート73 / 30,000部 / 加工1：十字折り 加工2：	1	127,740	127,740
	発送諸費用			2,400
合 計				130,140

特記事項

162-3

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	163
支出年月日	3年 1月 13日
項目 (該当項目に○をつけてください)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input checked="" type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<p>電話料金等払込受領証 西日本ご利用分 ご請求先氏名 長谷 基弘 様 お客様番号 2021年 1月ご請求分 金額(円) ¥5,682- 受取人 NTTファイナンス株 お問合せ先 (無料) 21.1.13</p>	
充当内容 (按分の計算方法)	固定電話 $5682円 \div 2 = 2841円$
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	164				
支出年月日	3年 / 月 20日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					
充当内容 (按分の計算方法)	ガソリン代 $5,371 / 19 = 285$ 円 2715円				
その他					

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

会派「あしやしみんのこえ」

芦屋市議会議員 あしやしみんの

市政レポート

Vol. 24

議会の危機編

**JR 芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！
芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！**

JR 芦屋駅南地区再開発事業の減額を約 35 億円行った！それでも反対する議員たち・損失額は約 40 億円を既に超えるようだ・・・

減額するように求めたのはすべての議員だった。なぜ反対なのか理屈不届

反対する議員達は「街路整備事業」を主張していますが、美術館的な計画であることは市の担当者が何度も説明してました。出来ない事業をやれば議員の質を疑う議会。それを準備するための事業費削減や基本計画図などの基本的計画を用意し、削減した芦屋市の計画と対比する必要があります。でもしもないものを要求したのでは、対案にもなりません。「反対のための反対」でしかありません。

地味業者の芦屋市負担は以前の 120 億円から 99 億円になりました！

再開発ビルは単価を見直し、建設費材を再検討して約 1.2 億円削減。総線共同溝工事、市道 354 号路他の無電柱化の取りやめを行い 3.7 億円削減。用地、買収費用を見直し 7.8 億円削減。公共施設用地 10.3 億円削減。地下鉄線路の減額 6.3 億円。ベネストリアンデッキ 5.6 億円他の減額などで合計約 35 億円になります。再開発事業 130.9 億円。JR 駅舎改修費用やベネストリアンデッキ費用など関連事業 35.6 億円。これにより、総額 201 億円が 34.5 億円減額され 166.5 億円になりました。芦屋市の負担は 99 億円です。(裏面に再掲載)



【当初の計画+ベネストリアンデッキを計画】



【今回の約 35 億円減額後の計画図】

165-2

**ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う**

バリアフリーとユニバーサルデザインは違う



UD とは、Universal Design (ユニバーサル デザイン)。総合計画以上に位置される予定の考え方です。バリアフリーとは、障害者・高齢者などに配慮されて築造されています。一方、ユニバーサルデザインは個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされています。また、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させると「民間主導型」で大きく弱なっています。制度設計は常に市民のみなさんの声があれば成立しません。ユニバーサルデザインは障害者だけのものではないことをご理解下さい。

「あしやしみんのこえ」伊藤市長へ新年度予算の要望を行いました。

令和 2 年 10 月 17 日に伊藤市長へ会派のみならず、市民の皆さんの要望をお聞きして、63 項目の予算要望を行いました。幼稚園 3 年保育の完全実施と保育所の待機児童 0 を目指す。新型コロナウイルスへの支援策を積極的に行う。防災・防犯では LINE の活用や避難所に関すること。公園や街路の利便性。中小企業・零細企業対策。街づくりへの支援策。国際化に関する取り組み。高齢者・障がい者福祉へのバリアフリー対策。教育の街あしやの復活。中学校の体育館エアコンの設置。スクーリングの導入。職員さんたちの研修への新たな提案。芦屋泊・湖国園の防災対策。その他として議会へは議員が行ったとされるパワハラの問題を求めましたが、職員に厳しく、議員自身には甘く、謝罪は買えませんでした。



議会は意見が違ってもいい！ですが、結論には責任をもつべきです。

今回の議会の「JR 芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和 21 年からの芦屋市民の総願でした。会派ではこの国鉄時代からの市民の願いや思いを大切にします。議員の思いはあってもいいし、寧ろその方が健全です。しかし、反対するにはその対案は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしやしみんのこえ」は岩手の 2 名の議員と私 (民生文教常任委員会) の 3 名の会派です。副幹事長 たかおか知子 (建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介 (総務常任委員会)

芦屋市議会 市政レポート

発行 芦屋市議会

所在地 〒650-8501 芦屋市橋通7-6

TEL 0797-48-2001(芦屋515)

会派 あしやしみんのこえ

責任者 長谷川

芦屋市議会 市政レポート

「芦屋」はせ 橋本 公太(ハート) OR コード

「あしやしみんのこえ」はせ 橋本 公太(ハート) OR コード

QRコード

QRコード

http://www.nose-motshiro.jp

本紙、紙面、活動などについて詳しくご紹介します。是非ご覧ください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	166
支出年月日	3年 1月 25日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<div data-bbox="446 824 1340 1478"> <p style="text-align: right;">No. _____</p> <h2 style="text-align: center;">領 収 証</h2> <p style="text-align: center;">芦屋市議会議員 <u>長谷基弘様</u> 23年 1月 25日</p> <hr/> <p style="text-align: center;">★ 79120-</p> <p>但 ⑥A 1520枚 印刷代 1000円 上記正に領収いたしました</p> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <div style="background-color: black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> <p>内 訳</p> <hr/> 税抜金額 消費税額(%) </div>	
充当内容 (按分の計算方法)	市政活動費 24 万円 雑費 80% 7296円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会でも市から約35億円規模した議案が伊原市長から提出された。その提議案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対案だと発言されたのです。しかし、今ごろになってこの提案をされるのはおかしいし、都市計画決定をする前に提案するべきだ。

平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その都度、議会には丁寧な説明を行い、平成30年6月には第2市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に退去、立ち退きすることになります。「地域に住民がほしい」と希望してもできないので地権者の意向とは違っています。

結局を使ったバス停や駐車スペースを設ける方策では遊歩帯や安全対策は出来ません。駅前広場ではないので通常のバス停や一般車両の駐車場では事業採算される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反論が可視化されたが一切発言されていませんでした。当時在職していた議員は※

JR 芦屋駅南再開発賛成したグループ（敬称略）

- 長谷 卓弘 ※ たかおか 知子 中村 亮介
- (あしや しみんのこえ 3名)
- 平野 貞雄 ※ ひるせ 久美子 ※ 川原 あゆみ (共産党 3名)
- 大原 裕賢 ※ 遠海 洋一郎 (日本維新の会 2名)
- 山口 みさえ (新社会党 1名) (合計 9名)
- 芦屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 芦屋駅南再開発反対したグループ（敬称略）

- 松本 善昭 ※ 梅井 利道 ※ 徳井 美奈子 ※
- 米田 哲也 川上 あさえ (自民党 5名)
- 徳田 直彦 ※ 桐山 和也 ※ 田原 健彦 ※ (公明党 3名)
- 青山 晴 大塚 のぶお 中島 健一 ※ (Be A Shinya 3名)
- 香取 尚文 ※ 齋藤 隆 (合計 12名)
- 「街路整備事業」という出来ない対案を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、削減案（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると削減案はいくらになるのか？市支出見込 86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の否決により、執行が困難な費用について県・国と協議をすると言われていましたが、事実上去年度執行が困難な費用に大きな影響が出るとの見解も示されています。また、反対するためから補助金に大きな影響が出るとの見解も示されています。また、反対するためから補助金に大きな影響が出るとの見解も示されています。また、反対するためから補助金に大きな影響が出るとの見解も示されています。また、反対のため上の白紙撤回でやり直したという例を私は知りません。どういうスケジュールなのだろうか？反対した議員に聞きたいものです。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょうか？40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画かと比べると多額の損害賠償の可能性が大きい！昨年度の私の市政レポートに指摘しましたが、予算額を精算しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとこれはJR 芦屋駅南再開発工事に見込んでいた国庫約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内示率70%です。100%ヘーズだと17.5億）が市の負担となり、協定外費用（関連会社への補助金等）についても国庫による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地など約5億。（未決定）
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンションは億ションが売れている

売れないどころか即売完？

兵庫県の新築マンション出稼サイトに掲載されている近々のJR 芦屋駅付近のマンションですが、2年前の神戸市で3億1300万円、昨年の神戸市マンションが2億4000万円。来年完成予定大原町が1億2800万円（予定）。川西町が1億5000万円などの億ションがズラリ完成予定で既に販売されています。「芦屋市の特価はこれ」から億ションが買われるのだ！ということだそう。駅前には計画された1億円を超える高級マンションは近くにも数多くあり、廉価感ではないにしても国庫再開発や市民税は期待できます。駅前の億ションは売れないどころか完売されるという実績があるのです。


このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の問題です。例えば、

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。但し52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に変更）は南芦屋駅の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋駅を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、瀬戸屋は阪神淡路大震災の影響はありましたが、後は計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては朝夕を除き2時間に1便です。バスの不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上に）
- 近隣の資産価値も上がります。（既に神戸市などの価値が上昇している）
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- エンバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率100%が達成されます。
- 高級なマンションを購入して居住される方が納める市民税にも期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力を創出が可能です。

実施すれば事業効果はいくつもありました。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	169
支出年月日	3年1月26日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
	
充当内容 (按分の計算方法)	増帯電話 上記5,000円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	168													
支出年月日	3年 1月 27日													
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費									
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費									
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)														
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p>2021年01月分 芦屋市</p> <p>長谷 基弘 様</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>部</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産経新聞セット※</td> <td>1</td> <td>4,037</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>¥4,037</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は軽減税率対象品目</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>No. [REDACTED]</p> <p>お知らせ 領収日2021年 1月27日</p> <p>毎度ご購入有難うございます 左記の通り領収致しました。</p> <p>8%対象 ¥4,037(消費税 ¥299)</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>産経新聞 芦屋専売所 〒659-0025 芦屋市浜町2-8 TEL: 0797-22-2578</p> <p>FAX: 0797-22-2579</p> </div>						品 名	部	金 額	産経新聞セット※	1	4,037	合 計		¥4,037
品 名	部	金 額												
産経新聞セット※	1	4,037												
合 計		¥4,037												
充当内容 (按分の計算方法)														
その他														

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	169
支出年月日	年 1 月 27 日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
<div style="text-align: center;"> <p>ご利用明細</p> <p>本日はご来店いただきありがとうございます。 ご利用明細をご確認のうえ、お持ち帰りください。 裏面のご案内もあわせてごらんください。</p> <p>☆☆お振込☆☆</p> <p>お振込金額 ¥16,390 振込手数料 ¥220</p> <p>SMBC</p> <p>お振込先 [REDACTED]</p> <p>当通 カタヒラサイフ 様</p> <p>お振込人 ハセ トシロ 様</p> <p>お取扱日 3. 1. 27 電信振込</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>取扱日 3. 1. 27 時 14</p> <p>三井住友銀行</p> <p>印紙税申告書 付につき添付 税務署承認済</p> </div>	
充当内容 (按分の計算方法)	おホームページ 資料 残高 914 1,228円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

芦屋市議会議員

はせ基弘

もとひろ



「ブレザにまっすぐ、芦屋の未来に向かって」



- 福祉・健康
- 子ども子育て・教育
- 街づくり・環境
- 財政・その他
- コラム
- お問い合わせ



- 2021年01月27日 NEW
- 2021年01月14日
- 2020年01月14日



はせ基弘 公式Facebook



長谷基弘

午前中の予定が終わりましたので、市政レポートVOL.24の配布をします。気温は高いですが、風が強い！
ツイート：あひん(*/ω＼)

169-3

JR芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！ 芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！

JR芦屋駅南地区再開発事業の減額を約35億円行った！それでも反対する議員たち・・・

損失額は約40億円を境に超えるようだ・・・

減額するように求めたのはすべての議員だった。
なぜ反対なのか理解不能

反対する議員達は「駅前整備事業」を主張していますが、駅前整備は計画であることは市の担当者が何度も説明していました。出来ない事業をやめては議員の義務を怠る行為。それを実施するための学費負担費や基本計画などの基本的計画を所望し、軽減した再開発の計画と対比する必要がある。できるしないものを提案したので、到底にやりきれません。(臨時のための反対)でしかありません。

駅事業費の芦屋市負担は以前の120億円から99億円になりました！

商業ビルは削減を目的とし、従前再開発費に対して約1.2割削減し、電線共同溝工事、市道254号線西の無電化区間の取替工費を行う1.5割削減、用地・建設費用を削減し7.8割削減、公共施設用地1.0割削減、宅地対策費の削減0.5割削減、バスストロリアンデッキ5.0割削減の削減などで合計約35億円になります。再開発事業(30.0億円)、JR駅舎改修費用やバスストロリアンデッキ費用など関連事業35.0億円、これにより、総額35.0億円が約4.5割削減され166.5億円になりました。再開発の負担は99億円です。



ホームトップ

再開発事業を白紙撤回すると損害額は
どれくらいでしょうか？

40億円以上(損害賠償額は不明)は確実に無駄になります

これまでにこの事業に特化した額は76億円
(令和元年度)以上になります。7年間の事業
計画がとん挫すると市の債務負担の可能性が
大いに増大するとの市政レポートに掲載しま
したが、予想額を掲載しておきます。



- 申請手法の変更を検討するとすればJR芦屋駅舎改良工事に見込んでいた額約12億円(再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内示率70%です。100%ベースだと17.5億)が市の負担となります。協定外費用(副産金等)についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地約5割。
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンションは値シヨンが売れている

売れないどころか即売売？

兵庫県の新築マンション比較サイトに掲載されている5月のJR芦屋駅南口のマン
ションですが、7年間の総戸数が3層1300戸用、計年の船戸町マンション2層
4000戸用、実年完成予定未開戸が1層2500戸用(予定)、川西地区が1層5000戸用は
この値シヨンがズバリ完成予定で既に販売されています。『芦屋市の地権者はこれら
値シヨンが買えないで売れるのだ』ということだそうです。
駅前に計画された1億円を超える高級マンションは多くても数多くあり、高付事業
ではないにしても固定資産税や市税額は期待できます。
駅前の値シヨンは売れないどころか空室されるという実情があるのです。

169 = 5

このJR芦屋駅再開発は芦屋市全体の課題です。例えば・・・

JR芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の
都市計画変更(広場面積を3200㎡から5600㎡に変更)は南芦屋浜の埋め立て計画
と連動したものです。南芦屋浜を含め市全体の人口増を見込んだ計画となってい
ますが、南芦屋は阪神淡路大震災の影響はありましたが、ほぼ計画通りです。し
かし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては朝を除き
2時間に1便です。バス便の不足など現在に至るまで解決できていない現状もあ
ります。

実施すれば事業効果はいくつもありました。

- ① 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。
(年額約7,000万円以上になる)
- ② 近隣の資産価値も上がります。(既に船戸町などの地権者が上昇している)
- ③ 若い世代の定住する街になれば人口増加につながります。
- ④ ユニバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率100%が達成で
きます。
- ⑤ 高額のマンションを購入して居住される方が納める市民税にも期待できま
す。
- ⑥ 小さな街だからできるコンパクトシティの能力の創出が可成りです。



ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う

バリアフリーとユニバーサルデザインは違う

UDとは、Universal Design(ユニバーサルデザイン)。製品は市場上に位置されるすべての人です。バリアフリーとは、障害者・高齢者などに配慮されて実定しています。一方、ユニバーサルデザインは購入者や使用の場などに応じてあり、全ての人が利用できるように。また、我々の市は私生活も、バリアフリーは法律等で規定する事で進めさせる「行政指針」ですが、ユニバーサルデザインは、思い切った要約のため提案する「民間指針」で大きく異なっています。別冊資料は常に市民のみならずの声をあげなければ成立しません。ユニバーサルデザインは現実で行われていないことをご理解下さい。



高齢者のバリアフリー

「あしやしみんのこえ」伊勢市長へ新年挨拶員の挨拶を行いました。



令和2年10月17日に伊勢市長へもりのみなさんで参り、市長の皆さんのお話を伺って、(3項目)の不祥事定を行いました。お礼、3年委員の完全実施と保育所の待機児童を目標に、新規コロナウィルスの支援策を積極的に打ち、幼児・幼児ではLINEの活用や送迎に際すること、3歳や4歳の待機性、中心企業・地域企業対策、出づりへの支援、団塊世代の取り組み、高齢者・障がい者福祉へのバリアフリー対策、執務の徹底しやの徹底、中学部の特別支援アジェンダの設置、スクールバスへの導入、職員さんたちには新たな提案、若年層・高齢者の防犯対策。

その傍として議会へは議員が行ったとされるバフハラの調査を求めましたが、職員に優しく、議員自身には行く、調査は戻さずでした。

議会は意見が違ってもいい!

ですが、結論には責任をもつべきです。

今回の議会の「JR芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和21年からの芦屋市民の念願でした。会派ではこの昭和時代からの市民の願いや思いを大切にします。意見の違いはあってもいいし、寧ろその方が健全です。しかし、反対するにはその対策は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしやしみんのこえ」は若手の2名の議員と私(民生文教常任委員会)の3名の会派です。

副幹事長 たかおか 知子(建設公営企業常任委員会)

会計責任者 中村 真介(総務常任委員会)

169-6



トップページ
プロフィール
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	170				
支出年月日	令和 3 年 / 月 29 日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					



あましんキャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきありがとうございます

お取引内容	お取扱日	機番	お取扱番号	金額	支店コード	科目	口座番号
お振込	21-01-29						
お振込金額							円
1							¥9,000
			手数料	¥440	1205	おつり	¥560

印紙税申告納付につき尼崎税務署承認済

銀行 普通口座番号 振込番 電信扱
 様
 プシマ シモンゴロイ カイイ 7065 リヨウスク 様
 電話番



裏面のご案内もあわせてご覧ください。

充当内容 (按分の計算方法)	1月分給与
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずクリップで留めて提出してください。


【あしやしみんのこえ】
 出勤簿(令和3年1月1日～令和3年1月31日)

被雇用者: XXXXXXXXXX

日	曜日	長谷 基弘	たかおか 知子	中村 亮介	備考
1	金				
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木				
8	金				
9	土				
10	日				
11	月	○			長谷:1H
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月	○	○	○	長谷・たかおか・中村:2H
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金				
30	土				
31	日				

※人件費の決定について、業務量は中間審査や年度末の時期に偏ってしまうため、年間を通してかかるであろう時間数を平準化し、時間給1000円を掛けて算出したもので、毎月9000円としております。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	197
支出年月日	年 1 月 29 日
項目 (該当項目に○をつけてください)	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
 <p>(株)シェル石油大阪営業所 西宮支店 兵庫県西宮市 宮前町1-1 TEL:0798-23-4660</p> <p>クレジットカード売上票 2021/01/29(金) 17:48 伝票NO. [REDACTED] 取引随番 [REDACTED]</p> <p>MOTOHIRO HASE 様</p> <p>012000 1.95 レギュラーガolin P07 ¥4554 数量 33.73L 単価 0136 西宮我S.S.ご利用感謝クーポン (単価 21951 適用済)</p> <p>合計 ¥4,554 (¥414)</p> <p>(内消費税) ¥414 承認: [REDACTED] 支払方法: [REDACTED] 有効期限: 2021/01/29 - 2021/02/28 休館: [REDACTED] 領収日付: 2021/01/29 領収書番号: [REDACTED]</p>	
充当内容 (按分の計算方法)	ガolin代 ¥4554.22 ¥2377.0
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	172
支出年月日	3年 1月 29日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充当内容 (按分の計算方法)	報けい 10024 枚 80% 500/10
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずクリップで留めて提出してください。

会派「あしや しみんのこえ」

芦屋市議会議員 はせあきの 市政レポート

Vol. 24
議会の危機編

**JR 芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！
芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！**

JR 芦屋駅南地区再開発事業の減額を約 35 億円行った！それでも反対する議員たち
損失額は約 40 億円を既に超えるようだ...

減額するように求めたのはすべての議員だった。なぜ反対なのか理解不能

反対する議員達は「新築準備事業」を主張していますが、東横線は計画であることは市の担当者が何度も説明してまいりました。出来ない事業をやれどは議員の投資を疑う議会。それを裏切るための予算準備資料や基本計画図などの基本資料を用意し、精査した芦屋市の計画と対比する必要があります。でももし正しいものを要求したのでは、何事にもなりません。「反対のための反対」でしかありません。

総事業費の芦屋市負担は以前の 120 億円から 99 億円になりました！

再開発ビルは単価を見直し、建築資材を再検討して約 1.2 億円削減。空堀鉄鋼掘工事、市道 354 号線地の築地住宅の取りやめを行い 3.7 億円削減。用地、買収費用を見直し 7.8 億円削減。公共施設用地 10.3 億円減額。地下鉄幹線の減額 6.3 億円。ベテストリアンデッキ 5.6 億円他の減額などで合計約 35 億円になります。
再開発事業 130.9 億円、JR 駅舎改修費用やベテストリアンデッキ費用など関連事業 35.6 億円。これにより、総額 201 億円が 34.5 億円減額され、166.5 億円になりました。芦屋市の負担は 99 億円です。(裏面に各増減)



【当期の計画図+ベテストリアンデッキを計画】



【今回の約 35 億円減額後の計画図】

**ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う**

バリアフリーとユニバーサルデザインは違う



UDとは、Universal Design (ユニバーサル デザイン)。総合計画上位に位置される予定の考えです。バリアフリーとは、障害者・高齢者などに配慮されて決定しています。一方、ユニバーサルデザインは個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされています。また、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させる「行政主導型」ですが、ユニバーサルデザインは、良いものを求めたうえ推奨する「民間主導型」で大きく異なっています。制度設計は常に市民のみなさんの声があれば成立しません。ユニバーサルデザインは障害者だけのものではないことをご理解下さい。

「あしやしみんのこえ」伊藤市長へ新年度予算の要望を行いました。

令和2年10月17日に伊藤市長へ会派のみなんで考えたり、市民の皆さんの要望をお聞きして、53項目の予算要望を行いました。幼稚園3年保育の完全実施と保育所の待機児童0を目指す。新型コロナウイルスへの支援策を積極的に挙げる。防災・防犯ではLINEの活用や避難所に劇すること。公園や道路の利便性。中小企業・零細企業対策。街づくりへの支援策。国際化に関する取り組み。高齢者・障がい者福祉へのバリアフリー対策。教育の街あしやの復活。中学校の体育館エアコンの設置。スクールバスの導入。職員さんたちの研修への新たな提案。芦屋浜・湖岸部の防犯対策。その他として議会へは議員が行ったとされるパワハラ調査を求めましたが、職員に厳しく、議員自身には甘く、結果は買えませんでした。

議会は意見が違ってもいい！ですが、結論には責任をもつべきです。
今回の議会の「JR 芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和21年からの芦屋市民の念願でした。会派ではこの国鉄時代からの市民の願いや思いを大切にします。意見の違いはあってもいいし、寧ろその方が健全です。しかし、反対するにはその対案は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしや しみんのこえ」は若手の2名の議員と私(民生文教常任委員会)の3名の会派です。
副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

発行	芦屋市議会
発行所	〒659-6501 芦屋市清洲町7-6
TEL	0797-58-2011(内線 515)
発行部	公報「あしやしみんのこえ」
発行部	長谷基弘

芦屋市議会議員「あしやしみんのこえ」ホームページ

QRコード

TEL: 0797-58-2011 (内線 515)

URL: <http://www.haseimichino.com/jp>

取換、変更、活動などについて詳しくご紹介しています。是非ご覧ください。

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ。

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会で市から約35億円削減した案が伊原市長から提出された。その案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対案と発言されたのです。しかし、今こうなるにこの提案をされるのはおかし、都市計画決定をする前に協議するべきです。

平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その調整、議会には丁寧な説明を行い、平成30年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が出来ません。また地権者の方は地域外に過去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してはいるので地権者の意向とは違っています。

結局を述べたバス停や駐車スペースを設ける方法では渋滞緩和や資金対策は出来ません。駅前広場ではないので通常のバス停や一般車両の駐車場で済ませる可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反対が可成りでしたが一切賛成されませんでした。当時在議していた議員は※

JR 戸屋駅再開発賛成したグループ（敬称略）

長谷 基弘※ たがおか 知子 中村 亮介
（あしや しみんの会 3名）
平野 貞雄※ ひろせ 久美子※ 川島 あゆみ
（共産党 3名）

大原 裕貴※ 浅海 洋一朗（日本維新の会 2名）
山口 みさえ（新社会党 1名）（合計9名）
戸屋市に経済刺激を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 戸屋駅再開発反対したグループ（敬称略）

松本 義昭※ 櫻井 利道※ 梅井 美奈子※
米田 隆也 川上 あさえ（自民党 5名）
郷田 直彦※ 塚山 和徳※ 園田 謙徳※（公明党 3名）
青山 晴 大塚 のぶお 伊藤 麗一※
（Be Ashiya 3名）

寺前 善文※ 無所属（合計12名）
「街路整備事業」という出来ない対案を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の削減案は当初支出見込を下回っている事実！事業変更では補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、削減案（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると削減額はいくらになるのか？市支出見込 86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の計画を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の百決により、執行が困難な費用について国・県と協議するとされていますが、事業上次年度から補助金に大きな差が出るとの見解も示されています。また、反対するため街路整備事業の策定となれば都市計画決定をやり直すことになり、事業上の目録論回でやり直したという例は知りませんが、どういうスケジュールなのだろう？反対した議員に聞きたいものです。

再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょうか？ 40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい！昨年度の私の市政レポートに指摘しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手法の変更を検討するとすればJR 戸屋駅改修工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内訳率70%です。100%ベースだと17.5億）が市の負担となります。協定外費用（関連会社への補助金等）についても国費による補助約1億円は全額戸屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地など約5億。（未確定）
- JR や地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

戸屋市のマンションはマンションが売れている

売れないどころか即売売？

兵庫県の新築マンション比較サイトに掲載されている近々のJR 戸屋駅付近のマンションですが、2年前の神戸で3億1300万円、昨年の神戸市マンションが2億4000万円。年末完成予定大塚駅が1億2800万円（予定）。川西駅が1億5000万円などのマンションがスゴイ完成予定で既に販売されています。「戸屋市の特長はこれからマンションが真っ先に売れるのだ」ということだそうです。

駅前に計画された1億円を超える高級マンションは近くに数多くあり、競売価格ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前のマンションは売れないどころか売却されるという実情があるのです。

このJR 戸屋駅再開発は戸屋市全体の課題です。例えば...

JR 戸屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に変更）は神戸市全体の埋め立て計画と連動したものです。神戸市を念め市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、神戸市は阪神淡路大震災の影響がありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地震によっては朝を過ぎ2時間に1便です。バス等の不足など現在に至るまで解決できていない現状があります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上になる）
- 近隣の資産価値も上がります。（既に神戸市などの階級値が上昇している）
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- ユニバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率10.0%が達成できます。
- 高級なマンションを購入して居住される方が増える方が増える市民税にも期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力的な街づくりが可能です。

実施すれば
事業効果はいくらもありません。

会派「あしやしみんのこえ」

芦屋市議会議員 はせあきのこえの

市政レポート

Vol.24

議会の危機編

JR 芦屋駅南地区再開発事業は事実上の白紙撤回！

芦屋の未来に暗雲！すべて議会の責任だ！

JR 芦屋駅南地区再開発事業の減額を約 35 億円行った！それでも反対する議員たち
損失額は約 40 億円を既に超えるようだ...

減額するように求めたのはすべての議員だった。なぜ反対なのが理解不能

反対する議員達は「街路整備事業」を主張していますが、突如困難な計画であることは市の担当者が何度も説明してました。出来ない事業をやれば議員の責任を疑う議会。それを減額するための事業削減や基本計画図などの基本的計画を用い、削減した芦屋市の計画と対比する必要がある。でももしないものを要求したのでは、対策にもなりません。「反対のための反対」でしかありません。

総事業費の芦屋市負担は以前の 120 億円から 99 億円になりました！

再開発ビルは撤廃を見直し、建築資材を再検討して約 1.2 億円削減。電線共同溝工事、市道 354 号線他の無電柱化の取りやめを行い 3.7 億円削減。用油、買収費用を削減し 7.8 億円削減。公共施設用地 10.3 億円削減。地下鉄路線の減額 6.3 億円。ヘドストリアンデッキ 5.6 億円他の減額などで合計約 35 億円になります。

再開発事業 130.9 億円、JR 駅舎改修費やヘドストリアンデッキ等費用など関連事業 35.6 億円。これにより、総額 201 億円が 34.5 億円減額され 166.5 億円になりました。芦屋市の負担は 99 億円です。(裏面にも掲載)



【今回の約 35 億円減額の計画図】



【当初の計画図+ヘドストリアンデッキを計画】

ユニバーサルデザインの考えが芦屋市総合計画になる
長くかかりましたが、私の念願が叶う

ユニバーサルデザインとは



UD とは、Universal Design (ユニバーサルデザイン)、総合計画上位に位置される予定の考えです。バリアフリーとは、障害者・高齢者などに配慮されて設置されています。一方、ユニバーサルデザインは個人差や国籍の違いなどに配慮しており、全ての人が対象とされています。また、普及の方法も大きく違い、バリアフリーは法律等で規制する事で普及させる「民間主導型」ですが、ユニバーサルデザインは、良いものを奨めたうえで推進する「民間主導型」で大きく異なっています。制度設計は特に市民のみさんの声がなければ成立しません。ユニバーサルデザインは障害者だけのものではないことをご理解下さい。

「あしやしみんのこえ」伊藤市長へ新年年度予算の要望を行いました。



令和2年10月17日に伊藤市長へ会派のみんなで考えたり、市民のみさんの要望をお聞きして、63項目の予算要望を行いました。幼稚園3年保育の完全実施と保育所の待機児童0を目指す。新型コロナウイルスへの支援策を積極的に挙げる。防災・防犯ではLINEの活用や避難所に関すること。公園や街路の利便性。中小企業・零細企業対策。街づくりへの支援策。国際化に関する取り組み。高齢者・障がい者福祉へのバリアフリー対策。教育の街あしやの復活。中学校的な体育館アエコンの設置。スクールの導入。職員さんたちの研修への新たな提案。芦屋浜・潮声屋の防災対策。その他として議会へは議員が行ったとされるパワハラ調査を求めましたが、職員自身には甘く、賛成は買えませんでした。

議会は意見が違ってもいい！ですが、結論には責任をもつべきです。

今回の議会の「JR 芦屋駅南地区再開発事業」の結論は昭和21年からの芦屋市民の念願でした。会派ではこの国鉄時代からの市民の願いや思いを大切にします。議員の思いは違ってもいいし、寧ろその方が健全です。しかし、反対するにはその対策は必ず提示しなくてはなりません。

会派「あしやしみんのこえ」は若手の2名の議員と私(民生文政常任委員会)の3名の会派です。
副幹事長 たかおか知子(建設公営企業常任委員会)・会計責任者 中村亮介(総務常任委員会)

芦屋市議会 会派「あしやしみんのこえ」

〒659-8501 芦屋市橘通町17-8

TEL. 0787-38-2001 (FAX 5151)

代表 長瀬 誠

副代表 長瀬 誠

事務 長瀬 誠

会計 長瀬 誠

連絡先

会派「あしやしみんのこえ」QRコード

QRコード

http://www.hase-motokio.jp

高松、徳島、活動などについて詳しくご紹介いたします。是非ご覧ください。

対案の街路整備事業は実施不可能な案なのです。反対の議員はこれをどうやったら実施できるのか？説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会で市から約35億円減額した案が伊藤市長から提出された。その提案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対象だと発言されたのです。しかし、今ごろになってこの提案をされるのはおかしいし、都市計画決定を前に提案するべきだ。

平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その節度、議会には丁寧な説明を行い、平成30年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が本来です。また地権者の方は地権外に過去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してもできないので地権者の意向とは違っています。

議員を使ったバス停や駐車スペースを認ける方法では申請認可される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。通常のバス停や一般車両の駐車場では事業認可される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でこの反対が可決したが一切発着されていませんでした。当時在職していた議員は※

JR芦屋駅前再開発賛成したグループ（敬称略）

- 島谷 敏弘※ たかおか 知子 中村 貴介
 - (あしや しみんの会 3名)
 - 平野 貞雄※ ひろせ 久義※ 川島 あゆみ
 - (共済 3名)
 - 大原 雅典※ 浅海 洋一郎(日本維新の会 2名)
 - 山口 みさえ (新社会党 1名) (合計 9名)
- 芦屋市に経営領域を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR芦屋駅前再開発反対したグループ（敬称略）

- 松本 義昭※ 福井 利通※ 福井 義彦子※
 - 米田 哲也 川上 あさえ (自民党 5名)
 - 藤田 直彦※ 梶山 和也※ 西原 健彦※ (公明党 3名)
 - 高山 晴 大塚 のぶお 中島 健一※
 - (Be A Shinya 3名)
 - 寺前 尊文※ 福所 辰 (合計 12名)
- 「街路整備事業」という出来ない対案を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！事業費までは補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、削減案（令和2年11月時点）における市支出見込額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると削減案はいくらになるのか？市支出見込 86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように予算案の百決により、執行が困難な費用について県・国と協議をすると言われています。また、反対するためから補助金に大きな影響が出るの見解も示されています。また、反対するため削減案は都市計画決定をやり直すことになりませんが、事業上の負担増回でやり直したという例を私は知りません。どういうリスクケジュールのたろう？反対した議員に聞きたいものです。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょう？40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画がこんどだと多額の損害賠償の可能性が大きい！昨年夏の私の市政レポートに指摘しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 再開発手法の変更を検討するとなればJR芦屋駅舎改修工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内示率70%です。100%ペースだと17.5億）が市の負担となります。協定外費用（関連会社への補償金等）についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地など約5億。（未確定）
- JRや地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンションは高シヨンが売れている

売れないどころか即売完？

兵庫県の新興マンション比較サイトに掲載されている近々のJR芦屋駅付近のマンションですが、2年前の船戸町で3億1300万円。昨年の船戸町マンションが2億4000万円。去年完成予定大原町が1億2800万円（予定）。川町が1億5000万円などの高シヨンがズラリ完成予定で既に販売されています。「芦屋市の相場はこれから高シヨンが真っ先に売れるのだ」ということだそうです。駅前には約1億円を超える高級マンションは近くにも数多くあり、庶民層ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前の高シヨンは売れないどころか完売されるという実績があるのです。

このJR芦屋駅前再開発は芦屋市全体の課題です。例えば、

- JR芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に変更）は南芦屋駅の埋め立て計画と連動したものです。南芦屋駅を市全体の人口増を見込んだ計画となっていますが、朝芦駅は阪神淡路大震災の影響がありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては通勤2時間に1便です。バス便の不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。
- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上になる）
- 近隣の資産価値も上がります。（既に船戸町などの路線価が上昇している）
- 若い世代の期待する街になれば人口増加につながります。
- コニバーカルデザインの駅前として、またバリアフリー化率100%が達成できます。
- 高級なマンションを購入して居住される方が増える市民税にも期待できます。
- 小さな街だからできるコンパクトシティの魅力の抽出が期待できます。

実施すれば
● 効果ははくくち
● あります。

193-3

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	174
支出年月日	3年 1月 31日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
内訳	
税抜金額	
消費税額(%)	
充当内容 (按分の計算方法)	市政レポート vol.29 1冊 計 914 17,712円
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

対案の街路整備事業は実施不可能な素なのか？ 反対の議員はこれをどうやって実現できるのか？ 説明せよ

昨年12月11日の建設公営企業常任委員会から約35億円減額した事業が伊藤市長から提出された。その案に対して反対するグループの2人から修正案が提出された。その内容は「街路整備事業」が対案だと発言された。しかし、今ごろになってこの提案をされるのはおかしいし、都市計画決定をする前に提案するべきだ。

平成29年に都市計画決定、平成30年には事業計画が決定され、その程度、議会には丁寧な説明を行い、平成30年6月には第2種市街地再開発事業の施行に関する条例の制定も全会一致（反対者0）で可決しています。

また街路整備事業は本来の目的である交通安全の確保が本来の目的です。また地権者の方は地権外に過去、立ち退きすることになります。「地域に住み続けたい」と希望してもできないで地権者の意向とは違っています。

通常のバス停や一般車両の駐車場では事業採択される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。過剰のバス停や一般車両の駐車場では事業採択される可能性は極めて低く、補助金は全く期待できません。何より、平成29年、30年でのこの反論が可能でしたが一切発言されていませんでした。当時在籍していた議員は※

JR 芦屋駅南再開発賛成したグループ（敬称略）

長谷 喜弘※	たかおか 知子	中村 亮介
(あしや しみんの会 3名)		
平野 貞雄※	ひろせ 久美子※	川島 あゆみ
(共済党 3名)		
大塚 裕貴※	浅海 洋一郎	(日本維新の会 2名)
山口 みさえ	(新社会党 1名)	(合計 9名)

芦屋市に経費削減を求め、当初の予算を大幅に減額したことを評価しています。

JR 芦屋駅南再開発反対したグループ（敬称略）

松木 恭明※	福井 利通※	福井 美奈子※
米田 哲也	川上 あさえ	(自民党 5名)
篠田 直隆※	堺山 利徳※	田原 敏彦※
青山 晴	大塚 のぶお	中島 隆一※
(Be Ashiya 3名)		
寺前 博文※	無所属	(合計 12名)

「街路整備事業」という出来ない対策を提出したのは寺前議員（無所属）と川上議員（自民党）

今回の削減案は当初支出見込を下回っていた事実！ 事業費更には補助されない？

当初事業計画（平成30年2月時点）における市支出見込額は86.7億円（制度上の国費10割交付見込み）、補償額（令和2年11月時点）における市支出見込み額は99億円です。国の交付金を7割で想定していますが、仮に10割交付となると削減額はいくらか？ 市支出見込 86.0億円となり、支出額は削減案によって当初の範囲を下回っている計画になるのです。国庫補助は今回のように削減案によって当初の範囲を下回っている計画について、国と協議をすることでされていますが、事実上、削減案が実施された場合、削減額が大きい影響が出るの見解も示されています。また、反対するためには削減額が大きい影響が出るの見解も示されています。また、削減案が実施された場合、削減額が大きい影響が出るの見解も示されています。また、削減案が実施された場合、削減額が大きい影響が出るの見解も示されています。



再開発事業を白紙撤回すると損害額はどれくらいでしょう？ 40億円以上（損害賠償訴訟は不明）は確実に無駄になります。

これまでのこの事業に投資した額は20億円（令和元年決算）以上になります。7年間の事業計画がとん挫すると多額の損害賠償の可能性が大きい！ 昨年度の私の市政レポートに報告しましたが、予想額を掲載しておきます。



- 事業手続の変更を検討するとすれば JR 芦屋駅改善工事に見込んでいた国費約12億円（再開発事業7億+関連事業5億・いずれも内訳率70%です。100%ペースだと17.5億）が市の負担となり、固定外費用（関連会社への借入金等）についても国費による補助約1億円は全額芦屋市負担。
- 国の補助金を活用して購入した再開発用地など約5億。（未確定）
- JR や地権者の方からのやむを得ない訴訟などの額は不明。

芦屋市のマンシヨンは何処に売られている？

兵庫県の新築マンシヨン比較サイトに掲載されている近々のJR 芦屋駅付近のマンシヨンですが、2年前の船戸町で3棟1300万円、昨年の船戸町マンシヨンが2棟4000万円、来年度予定大塚町が1棟2800万円（予定）。川西町が1棟5000万円ほどのマンシヨンがスラリ完成予定で既に販売されています。「芦屋市の特徴はこれらマンシヨンが売られるのだ」ということでしょうか？

駅前には計画された1億円を超える高級マンシヨンは近くに数多くあり、庶民感覚ではないにしても固定資産税や市民税は期待できます。駅前のマンシヨンは売れない？ ところが売却されるといふ裏面があるのです。

売れないどころか売却？

このJR 芦屋駅再開発は芦屋市全体の問題です。例えば・・・

JR 芦屋駅南口の駅前広場に係る都市計画決定は、昭和21年です。昭和52年の都市計画変更（広場面積を3200㎡から5600㎡に変更）は南芦屋の埋め立て計画と連動したもので、南芦屋駅を含め市全体の人口増を見込んだ計画となっています。芦屋駅は阪神淡路大震災の影響はありましたが、ほぼ計画通りです。しかし、駅前広場が未完成のため駅北の交通混雑があり、地域によっては駅を徒歩2時間に1便です。バス便の不足など現在に至るまで解決できていない現状もあります。

- 資産価値の上昇のため固定資産税などの増加が見込まれます。（年間約7,000万円以上に）
- 近隣の資産価値も上がります。（既に船戸町などの路線価が上昇している）
- 若い世代の期待する額になれば人口増加につながります。
- エンバーサルデザインの駅前として、またバリアフリー化率100%が達成できます。
- 高級なマンシヨンを購入して居住される方が増える市民税に占領できます。
- 小さな額だからできるコンパクトシティの威力の発揮が可能です。

実施すれば
事業効果はいくつ
もありました。

174-3